

HOPEニュース

平成30年5月号

日本システム(株)
医療福祉ソリューション本部

発行責任者：鳴松

TEL 099-254-7200

改定後の請求業務もひと段落となりました。皆様がたのご協力に感謝申し上げます。
分割処方へのご対応など、残対応もありますので継続してご協力の程お願い申し上げます。
さて、奄美地方は梅雨入りしており、県本土も間もなくと思われます。
災害などなく、恵みの雨となる事を祈るばかりです。

●停電時の対応とデータ退避について●

もうすぐ梅雨に入り、本格的に雨が降る時期になります。突然の集中豪雨や連続的な長雨など、雨の降り方も様々ですが、コンピューターシステムを守る為にどうしたら良いかを考えてみましょう。

雨の多い時期は、停電や瞬停（瞬間的に停電すること）が発生する場合があります。
停電時は、無停電装置（UPS）が「ピーピー」と鳴ります。そんな時は慌てず通常の処理（シャットダウン）で子機の電源を切り、最後に親機（サーバー）の電源を切ります。
原則電源ボタンで電源を切らないで下さい。電源ボタンを押して強制終了させると、ディスク障害やシステム障害などの原因になります。停電が復旧したら無停電装置が動いている事を確認して、次に親機の電源を投入、初期メニューが表示されたら子機の電源を投入します。

もし瞬間的な停電ですぐに親機まで電源が切れる場合は、無停電装置のバッテリーが対応年数を過ぎていたことが考えられます。（※機種により異なりますが、概ね3年～4年位です。）
瞬停時は親機が運転中でも子機の電源が切れたり、ネットワークエラーやデータベースエラーが発生する場合があります。不明な点は弊社へご連絡下さい。

また、万が一に備えて毎日のデータ退避は必ず行って下さい。突然の落雷から被害を100%防止することは不可能です。物理的な機械部分は部品やユニットを交換すれば修復できますが、システムの中に保存されているデータは、一旦破壊されると復旧することが極めて困難になります。
しかし、日々の業務で「データ退避」をきちんと行っていれば、データが破壊される直前の状態まで復旧する事が出来ます。

「データ退避」はシステム運用を行う上での「保険」の役割を担っています。そういう意味でこの梅雨時は今一度「データ退避」の重要性を再認識する良い時期であると思います。

●データ退避時に退避先が見つからない時の対処法●

マスタ退避を取ろうとしたとき、「退避先にbackup-X・backup-Yが表示されな
い（見れません）」とのお問合せをいただくことがあります。
コンピュータ（もしくはマイコンピュータ）を確認していただき、backup-X・
backup-Yに「X」が表示されていた場合、外付けハードディスクと接続できてい
ません。このような場合の対処法をご案内致します。

対処法① backup-X・backup-Yをダブルクリックし、保存されている内容
（HP1HOKAN*****）が表示されるか確認してください。
表示された場合は再度マスタ退避画面をご確認ください。

対処法② ①の方法で表示されなかった場合、外付けハードディスクの電源が入っているか確認してください。電源が切れていた場合は、電源を入れてください。

対処法③ ②で確認した際に、エラーランプが点滅もしくは点灯しているか確認してください。点滅・点灯している場合は、故障が疑われますので弊社にお問い合わせください。

●梅雨時期の用紙の保管について●

梅雨時期は用紙が湿気を含み易く、印刷後に波打ち現象が出たり印字がにじんだり最悪の場合紙詰まりを起こします。

以下にいくつか対策事例を挙げますので、参考にしてみてくださいはいかがでしょうか。

- ① 紙の在庫品をむき出しにせず紙箱に入れたままにするか、密閉できるビニール袋に入れて保管棚に保管し、使用する分だけ取り出す。
- ② 印刷後、残ったレセプト用紙は保管棚またはキャビネットに戻す。
※水気のある場所は絶対に避ける。
- ③ 保管棚の中に除湿剤を置いておく。
- ④ レーザープリンターのカセットの中の隙間（空間）に除湿剤を置いておく。
- ⑤ 印刷物が波打ったり、用紙詰まりが多発する場合は別の用紙と交換してみる。（新しい用紙では問題無く印刷される事があります。）

●よもやま話●

そろそろ梅雨で洗濯物に悩まされる時期がやってきます。

私は夜洗濯をして部屋干しをしています。今まで梅雨時期の暑苦しい時はクーラーの除湿機能を使っていましたが、除湿機能が一番電気代がかかる事が分かりびっくりしました。

そもそもクーラーには冷房機能と除湿機能がありますが理解しているでしょうか。

「冷房」は部屋の空気の温度を下げることを目的とした機能です。

「除湿」はできるだけ温度を下げずに湿度を下げることを目的としています。

また、除湿には「弱冷房除湿」と「再熱除湿」の2種類があり、

弱冷房除湿：水分を集めるために温度を下げた空気を、そのまま部屋に戻す。

再熱除湿：温度を下げた空気を、丁度良い温度に温めなおしてから部屋に戻す。

電気料金は「弱冷房除湿<冷房<再熱除湿」と高くなり、使用しているエアコンによっては「除湿」より「冷房」の方が省エネになる場合もあります。

さらに誤解していましたが実は除湿量は「除湿」より「冷房」の方が多いらしいです。

まずは現在使用しているエアコンがどちらのタイプかを確認し、肌寒い日は快適性を優先して「再熱除湿」を利用し、設定温度を高めれば電気代を抑えられます。

状況に応じて機能を選択すれば快適な生活を送れそうです。